

江戸アニメ「写し絵」ワークショップ

かき描機メーションをつくろう!



静岡初、誰でも作れる「手描きアナログアニメ」大公開!

手描きアニメの作り方を遊びながら学べる講座です。手で描いてすぐに上映、コンピュータでは出来ない、人間的なアニメーション制作術を学べます。

「写し絵」とは?

1800年の初めに、海外の映写機を改良し、木材で作られた映写機が登場します。上映すると、箱が熱くなることから映写機の本体を「風呂」と呼び、投影する絵を描いた板を「種板(たねいた)」と呼びました。この風呂と種板を使って、絵が動いているように上映することを「写し絵」と言います。この写し絵が、アニメのはじまりになりました。江戸時代では、「写し絵」は人の語りにあわせた劇として、当時の人々に親しまれました。



「風呂」と呼ばれる江戸時代の映写機

アニメの歴史を知ろう



1801年に生まれた江戸アニメ「写し絵」は、現代のアニメにも通じています。写し絵から、日本アニメのルーツを体験的に知ることができます。

江戸時代のアニメを体験!



「種板(たねいた)」というフィルムに自分で絵を描いて、昔の映写機「風呂」を使って上映しよう!

手描きアニメに挑戦!



手描きアニメ「カキメーション」と「ヒッカキメーション」に挑戦! 16mmフィルムにみんなで作って絵を描いて、映写機で上映しよう!

中嶋先生の作品上映もあります!
(ニューヨーク近代美術館展)



講師: 中嶋 興 (なかじま こう) アニメーション作家・美術家・映像作家・環境プロデューサー
1941年熊本生まれ。国際アニメーション協会会員、日本文化海外普及協会アニメ部門副理事、元・武蔵野美術大学映像学科講師。九州より上京し60年代より映画技術を学びながら、実験的なアニメーションなどを手掛ける。70年代よりポータブルのビデオカメラを購入し、グループ「ビデオアース東京」を結成。ビデオを個人の記録メディアとして、また生命や思想の表現を行う媒体として捉え、ユニークな視点でパフォーマンスやドキュメンタリー、インスタレーションなど広い範囲での活動を行う。

3/3(日)

時間: 10:00~16:00 程度 *途中でお昼休憩をはさみます

対象: 小学生以上の個人 *小学校3年生以下は保護者をご参加ください

定員: 30名 場所: 静岡県立美術館 実技室 材料費: 1000円程度

持ち物: お昼ご飯・携帯電話やデジタルカメラ等の写真が撮れる機器(もし有ればお持ちください)

汚れても良い服装でお越しください

お申込み用紙に記入し、次のいずれかの方法でお申し込みください。
※お申込みをお受けできない場合のみ、ご連絡いたします

●実技室前のポストに入れる ●FAX する ●郵送する ●ウェブで申込み

締め切り: 2月24日(日)必着 【受付延長中!】3月1日(金)迄

静岡県立美術館 学芸課 実技室担当

〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2 TEL:054-263-5857 FAX:054-263-5742

お申込み
お問合せ



WEB申込みはこちら

お申込み用紙

3/3(日) わくわくアトリエ 江戸アニメ「写し絵」ワークショップ

ふりがな
お名前

小・中 年生・大人
高・大

※保護者付添の場合その氏名:

TEL — —

連絡のつきやすい時間帯 時頃

・記入していただいた内容は、イベントに関する連絡以外には使用いたしません
・お申込みをお受けできない場合のみご連絡いたします